

SSKS

社会福祉法人結の会

オフィス クローバー



o f f i c e c l o v e r

ニュース

2022年

もみじの葉が ひらひら舞う 秋号



目 次

(オフィス クローバーのページ)

精神科受診体験／ミニ職員相互研修／MUJI 販売について…………… P 2

防災訓練／秋の味覚の旅 第二弾…………… P 3

《特集》

『退職後の支援者との付き合い方 ～SOSを発信し危機を乗り越える～』…………… P 4～5

(社会福祉法人結の会のページ)

第2回理事会報告／虐待防止等対策委員会設置／新人職員紹介…………… P 6

《読み物》『主治医と私の関係について』…………… P 7

投稿作品／主な予定／編集後記…………… P 8

～ 次号は2023年1月に発行予定です。お楽しみに！！ ～



オフィス クローバーのページ

精神科受診体験

一般就労にまだ自信を持ってない精神障害者を対象に、働く場を提供し、能力向上などの必要な訓練を行うところです。



精神科体験中

7月28日、3年ぶりに開催した嘱託医の紫藤先生と利用者との懇談会の後、職員が精神科受診を体験しました。5名の職員は緊張の面持ちで受付に診察券を出し、紫藤先生に呼ばれて10分ずつ日頃の悩みを聞いていただきました。待合室では山田精神保健福祉士から紫藤クリニックでのインテークの流れや

注意点等についてお話しいただきました。職員からは、「診察室で紫藤先生が穏やかに聞いて下さったことを普段の支援に活かしたい」「山田さんから面接の論旨がずれないように話し手を導くことの重要性を学び感銘を受けた」等の感想があり、印象に残る研修となりました。

（友利）

ミニ職員相互研修

新宿区精神保健ネットワーク連絡会主催の「ミニ職員相互研修」に職員7名と実習生1名が参加しました。新宿区内の精神障害者を対象とする事業所の職員同士が、互いの施設を実習するという内容で、B型事業所や、グループホーム、相談支援事業所他を体験させてもらい、他事業所の特徴を知ったり、新宿区内の社会資源を具体的に知ることが出来ました。新型コロナ第7波真っ只中の8月～9月にかけての取り組みでしたが、無事実習を終え、交流を図ることが出来ました。

（松田）

MUJI販売について

8月27日に新宿ピカデリー内のMUJI新宿店で行われた、「しんじゅ Quality」の販売会に参加しました。今回の売上は、11,650円で、4月に参加した時より少し増え、内心ホッとしています。前回よりもオフィス クローバーを知らない方に商品を手にとっていただけたかなと感じました。また、今回も、コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあったため、利用者と一緒に販売することは見送りましたが、ぜひ次回は、店頭と一緒に立って販売したいなと思いました。



貴重な販売機会でした

（渡邊）

防災訓練



火災訓練実施

私は9月8日に参加しました。実習生がいらしていたので、おいて先に逃げてはいけないと思い、声をかけながら一緒に避難しました。みんなが靴を履き替えていたので、私も履き替えていきましたが、実際はそんな時間があるのだろうかと思いながら避難しました。（ゴマちゃん）



靴を履き替えてしまった💧

施設近隣の避難所等の確認

今回、初めて避難訓練に参加してよかった点は、職員が必ず前後に分かれて利用者をサポートしていた事であったと思います。歩くスピードが遅い人、早い人が居たからです。声をかけていたり、職員が車や自転車が来る事を教えてくれたりして良かったです。（イーグル）



避難場所を地図で確認

秋の味覚の旅 第二弾

昨年につき、秋の旅行の代わりに「秋の味覚の旅 第二弾」を開催しました！今年には鳥取県の名物が楽しめるお弁当を4種類取り寄せました。また秋の旅行へ行けることを願いつつ、みんなで楽しみました。（宇田川）

鳥取牛のしぐれ煮がメインで、真ん中には目玉おやじを模した竹輪と練梅が添えられ、さっぱりした牛丼のようで美味しかったです。有田焼の茶碗の底には鬼太郎たちがいて持ち帰りました。また機会があれば参加したいと思います。（ユウ）



ゲゲゲの鬼太郎丼



大山豚のステーキ弁当

私は大山豚のステーキ弁当を食べました。人参、きのこ、漬物、ステーキが入っていて、野菜は甘くて美味しかったです。ステーキのソースと御飯がからみあって、とてもご飯が進みました。素敵な旅行に行った気分になりました。（ベニート）

《特集》 『就職後の支援者との付き合い方 ～SOSを発信し危機を乗り越える～』

困難に直面した時に、支援者にSOSを発信することで現状を伝え、困難を乗り越え自身の環境を整えることは、仕事を続けていくうえでとても大切なことです。5年以上勤務を続けているオフィス クローバーのOBにも「もう仕事を続けられない！」と思った危機的な状況が何度も訪れました。どんな困難が訪れ、どのように支援者と共に乗り越えたのかをお話いただきました。9月16日に開催した「OBと利用者との懇談会」でお話くださったお二人のOBの講演とその後の利用者との意見交換の内容を抜粋してお届けします。

西吉真喜子さんのお話

入職して間もなく、人間関係に悩み、支援者に相談しましたが話し合いは思わぬ方向に…。

オフィス クローバーの利用期間は、平成24年4月～平成29年10月の5年6か月でした。緑化推進事業や細工町高齢者在宅サービスセンターでの清掃作業に参加し、平成29（2017）年1月25日にワタミ株式会社に就職しました。店舗の開店前の清掃やお通しの盛り付け等の業務を行い、週20時間を目安に働いています。勤務して5年7か月が経ちました。



西吉真喜子さん

これまでにあった離職の最大の危機は、入職して間もなくのことでした。配属された店舗には同じ障害者雇用の方がお一人いて、初めのころはいろいろと教わり助かっていたのですが、気分のムラについていけず、ストレスを感じるようになっていきました。支援者にそのことを伝え、自治体の支援機関や店長が話し合いの場を設けてくださいました。私の希望は勤務時間をずらし一緒に現場に入らないようにしてもらおうことでしたが、「これを糧に頑張りませんか？」「誰でも苦手な人はいるものですよ」と言われ「頑張っ乗り越えましょう」という結論になってしまったのです。次の日、勤務就労後、オフィス クローバーに行き、事の顛末を話し、職員から改めて私の希望を店長や自治体の支援者に伝えてもらい、私の希望通り時間をずらして勤務させてもらえることになりました。今は本当に働きやすくなりました。私が皆さんにアドバイスしたいのは、「就職前の今から、支援者と良好な関係を築いておいてください」ということです。

財部陽子さんのお話

退職したいと思った理由は、人間関係のトラブルばかりでした。

2010年9月に大手コンビニチェーンに入社しました。入社してから12年が経ちますが、今までに3回程退職しようと思ったことがありました。その度にオフィスクローバーに相談して、色々とお世話になりました。就労してからの方が、オフィスクローバーを利用する価値があると感じます。トラブルがあった時にSOSを受け取り、支援者として就労場所にも来て、一緒に解決の手助けをして頂けます。企業側も、障害者に対応する策を考えているので、支援者が入ることを勧めているように感じます。いい意味で信頼できる人を見つけ、利用していくということが大切なのではないでしょうか。



財部陽子さん

意見交換

利用者の質問に、講師のお二人が丁寧に答えくださいました。人生相談のような意見交換会でした。



1か月以上休んだりして、心を閉ざして外出できなかったりします。西吉さんはどのように抜け出せたのですか？



誰でも落ち込むことはあります。私もそうでした。とことん落ちるところまで落ちてしましましょう！必ず浮上してくるので大丈夫！



就職までの訓練中にどのような心の葛藤がありましたか？

私は就職まで10年かかりました。「訓練して役に立つのかな～？」と思ったけど、一つ一つやっていき10年経ち自信になり就職できました！



どのようにして今の会社に決めましたか？

私はデザインの仕事に就くつもりでしたが、コンビニチェーンを紹介され、「行ってみようかな」という軽い気持ちで決めました。結局12年も続いています。まずはやってみることが大切ではないでしょうか。



【アンケートより】「人間関係でふたりが苦勞して困難を乗り越えていった事がよく分かりました。」「自分が発信して、その思いが届かなかった際に、オフィス クローバーといった別の関係機関に頼ったことで働きやすい環境になり、働き続けられたという体験談は重みがありました。」「支援者と良好な関係作りの大切さがわかりました。」「素直にSOSを出しているのが勉強になりました。周りの方への相談が大切だと感じました。特に支援者との関係が大事と自分も再度確認できました。」

社会福祉法人結の会のページ

オフィス クローバーを運営する社会福祉法人の本部です。



第2回理事会報告

9月15日に2022年度第2回理事会がリモートと対面のハイブリットで開催されました。議案は「育児休業規程改訂」「介護休業規程改訂」の2件で、審議の結果、議案の通り可決されました。男性の育児休業取得が進むように内容を変更するなど、10月1日からの育児・介護休業法改正に向け準備を整えました。（松田）

虐待防止等対策委員会設置



2022年9月27日、今年度より虐待防止等対策委員会規程を設けることが義務化されたことを受けて、当法人として初めての虐待防止等対策委員会が開催されました。監事、施設長、副施設長、所内作業リーダー、利用者代表の5名が委員となり、虐待に繋がるような事象を見逃すことなく、みんなで解決して行ける風通しの良い事業所を目指すことで意見が一致しました。開催に先立って行われた利用者代表の選考にあたっては、5名の方が「協力したい」と手を挙げ、候補者全員で勉強会を実施した後に決定しました。委員会や委員の役割等について話し合う中で、ご自身の辛い体験を委員として役立てたいと語って下さった方が多くいたことも印象的でした。（友利）

新人職員紹介

職員の中にも多様性を取り入れ、様々な視点で日々の施設運営を考えていきたいと、10月1日より、当施設利用者を職員として迎えました。9月1日より、利用者全体に職員の意向を伝え、なぜ渡里さんなのかという事も話しました。利用者からは、新たな就労の在り方が生まれ、選択肢が増えたことを喜ぶ声が多く聞かれました。（松田）

皆様こんにちは。10月1日よりピアスタッフとして非常勤職員をさせて頂く事になりました、渡里智わたりさとしです。はじめは「自分に出来るのか」と不安に思う気持ちがありましたが、今は自然に取り組むことを心掛けています。今後皆様におかれましては、これまで通り変わらずに接して頂ければ幸いです。



コツコツ頑張ります🍌

読み物

『主治医と私の関係について』

精神科に通院する利用者にとって「主治医との関係」は、病状にも大きく影響する大切な事柄です。体調の良い時も悪い時も知り、的確な処方をしてもらうために築く「主治医との関係」について、私たちのエピソードをご紹介します。

◆私と主治医との出会いは、今から40年ほど前の共に20代の時で、先生は研修医でした。出会った時先生は前髪にパーマを掛けており、勉強熱心な好青年、いや医師でした。私も年がたいして変わらず友達感覚でした。その距離感は今もあまり変わりません。若い頃は、いや今も敬意をもって敬語を使っていますが。診察内容も病気の話ではなく、世間話でほとんど終わってしまいます。先生には私の性格、気質も見抜かれており、私が何を考えているかも見抜かれてしまっている次第です。さてこれからいつまで主治医と共に人生を歩むことができるか？ （さすらいの侍）

◆私は上京した直後に、東新宿保健センターに電話して今の病院の紹介を受けました。初めて主治医に会ったときに抱いた印象は、「あまり感情を表に出さない人だな」という事でした。最初から先生と関係が良かったかという、そうではなかったように思います。何度か自分から診察拒否をしたり、勝手に薬を飲まなかったりと反抗していた時期もありました。その間、他のクリニックに診察しようと思いましたが、大人の発達障害を診てくれるクリニックが自宅からとても遠かったり、予約が一年後とかざらにあったので、自分にとっては今の主治医の所がちょうどいいのです。（秋田犬）



KURUMIRUオンラインショップがオープンしました！

オフィスクローバーのブックカバーもご購入していただけます。他にも実用的なかわいい商品ばかりですので、一度、QRコードからアクセスしてご覧ください！



《投稿作品》

平和の時ほるか
流された涙は
ただ雨の中
かなわぬ平和の祈りの
こころの灯に燃えて――

人の愚行は停まず
悪の応酬は尽きることとてない
斃れた者、追われた者、迷える者の
こころには、何が去来しているのだろう。

戦は久しく
終る時とて見せない
時の非情さは
時空を覆いつくす

雨は斃れた屍を
やさしく包み込み
死せる者の魂魄を
敵味方となく慰める

戦場の野に
雨が降り注ぐ

『鎮魂』

淑行



《主な予定》

12月上旬～ 忘年会月間
12月28日～1月5日 利用者冬期休暇
2023年
1月19日 第3回理事会
※毎月25日は工賃日です。印鑑をお忘れなく！
※クリスマスミニコンサートは中止します。

《編集後記》

「地の利は人の和に如かず」という諺があります。――いかに良い条件が与えられても、それぞれを利用する人の協力なしには事は進まない、という事です。今号の紙面は、こうした人間関係のSDGsに関して考えさせられる編集であったと思います。例えば、病から立ち直り、仕事へと復帰すること、そして、医師との賢い付き合い方、これらは当事者の積極性と協力機関の人の和の関係の中で行われなければなりません。この事はあらゆることの基本であると同時に、何にもまして貴重な事です。秋も深まり、冬に向かって行きます。どうぞ健康に気を付けて下さい。（淑行）

オフィス クローバー 〒169-0075 新宿区高田馬場 3-18-25 第1康洋ビル 7階 TEL 03-3365-4177 FAX 03-3365-4178 E-mail yuinokai@axel.ocn.ne.jp https://yuinokai-clover.com/	編集：淑行・和泉 仁科・松田 イラスト：淑行、他 入力・印刷・発送： オフィス クローバー	発行所 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルトウラ祖師谷 102号室 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価 150円
--	---	--

2022年10月 28日

各 位

社会福祉法人結の会
理事長 友利幸湖

2022年度クリスマスミニコンサート開催中止のお知らせ

秋冷の候、皆様におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。

日ごろより社会福祉法人結の会の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

2022年度も新型コロナウイルスは猛威を振るい、かわらぬ自粛と感染予防対策を講じる日々が続いております。幸いオフィス クローバーは一日も休むことなく活動を続けることができております。また、少しずつですが、コロナ前に地域で行われていたイベントが再開されつつあります。

さて、コロナ禍以前に12月になりますと開催しておりました社会福祉法人結の会主催の「クリスマスミニコンサート」は昨年に引き続き中止することといたしましたのでお知らせいたします。

近年は映画会とコンサートを近隣の皆様にお届けしていましたが、室内に大勢の方々をお招きするリスクとインフルエンザ等も含めた感染症が発生しやすい時期と重なっていることから、やむを得ないという判断となりました。

一日も早く新型コロナウイルス対策が進み、再び皆様と笑顔でお会いできますことを利用者職員一同心より願っております。

皆様のご健康を心よりお祈りするとともに、今後とも当会の活動をお見守り下さいますよう、よろしく願いいたします。